



石神井川・豊島橋の架替えが完了しました。

～石神井川整備工事（その143）～

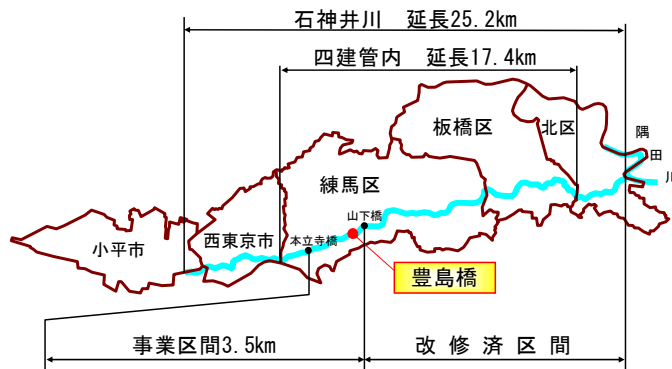
当所では、石神井川の山下橋から本立寺橋までの区間約3.5kmにおいて、1時間50ミリの降雨に対処する河川整備を進めています。本区間の下流部、豊島橋付近では、同橋梁を挟む上下流で護岸整備工事（その143）を行っています。

中小河川に架かる橋梁の多くは、地域の生活道路として利用されており、護岸工事に伴う橋梁の架替えは、周辺住民の日々の暮らしに大きな影響を与えることとなります。

今回架替えを行った豊島橋も、路線バスが頻繁に行き来する主要な生活道路（旧早稲田通り）となっていました。このため、仮設の切回し道路を設置し生活道路としての機能を確保しながら架替えを進めました。

狭隘な橋詰空間を利用した切回し道路は、急カーブとアップダウンが連続する形態となったことから、交通事故の発生を未然に防ぐため、様々な安全対策を講じました。導流帯や視線誘導標など安全施設の設置は無論のこと、狭いながらも歩行者通路を確保し交通誘導員を適所に配置して、歩行者の安全確保にも万全を期しました。また、ちょっとした通路の不陸にも注意を払い日々点検を重ねました。その結果、切回し道路使用中の約10ヶ月間一つの事故もなく、昨年11月末に新豊島橋を交通開放しました。日夜安全確保に努力してきた現場の誘導員には、完成した橋を渡る方々から「やっと橋ができたね。ありがとう。」と労いの声をかけて頂いたとのこと、工事に携わった全員が無事架替えを終えた喜びを新たにしました。

本年3月末には豊島橋上下流の護岸整備工事も完了する見込みです。引き続き、上流区間の護岸整備を着実に進め、1日も早い水害の解消を目指していきます。



石神井川概略図



旧豊島橋と在来の30ミリ護岸



仮設切回し道路（写真左が旧豊島）



新豊島橋と完成間近の50ミリ護岸